

重点分野2 (中目標)	貧困削減・生計向上への貢献										
開発課題2 (小目標) 地方農村部における生計向上	【現状と課題】 ナミビアは、所得や資産の不平等性を測る尺度であるジニ係数0.57(2015年)が示すとおり、貧富の格差が大きく、とりわけ人口の約2/3を占める北部地域の住民の多くは収入が低い。地方農村部の人々は、小規模農業を主たる生計手段としているが、頻発する洪水や干ばつ等の気象特性への対応、農業普及員の質と量の問題、施設・機材の不足や維持管理能力の不足等の問題が散見されており、低所得者層の所得向上に向けて、これら課題への早急な対応が求められている。			【開発課題への対応方針】 取り残される人がいない包摂的な発展の実現に寄与するべく、特に低所得者層が多く居住する北部地域をターゲットに、小規模農家の生産性向上に資する開発シナリオの検討を進める。これまでに実施してきた協力の成果を基に、特に有効なアプローチとして期待されている市場志向型農業の導入・普及を促進するべく、基礎情報収集・確認調査を実施し、必要な技術支援、行政官や普及員の能力強化に係る協力を実施する。							
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間 2017年度以前 2018年度 2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 支援額(億円) 備考						
	地方農村部生計向上プログラム	北部地域の小規模農家を対象に、生計向上に資する市場志向型農業の導入・普及を推進するべく、開発シナリオの検討、行政官・普及員の能力強化、技術普及システムの改善等に係る支援を実施する。		北部農業開発マスタープラン策定調査プロジェクト	開発計画	3.04					
				農業分野基礎情報収集・確認調査	情報収集調査						
				農業開発・地方開発分野の課題別研修	課題別研修他						
				農業開発・地方開発分野の青年海外協力隊	JOCV						
				地方開発分野の第三国研修	第三国研修						
		食糧援助	食糧援助	0.40							

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(=個別機材)、「国別研修」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=青年海外協力隊)、「SV」(=シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」(=第三国研修)、「現地国内研修」(=科学技術)、「科学技術」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(=水産無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「情報収集調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「中小企業支援」(=中小企業海外展開支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」及び「普及・実証事業」並びに中小企業連携促進基礎調査)、「実線」(=実施期間)、「破線」(=実施予定期間)